

FileMaker® Server 13

ネットワークインストール
セットアップガイド



© 2007-2013 FileMaker, Inc. All Rights Reserved.

FileMaker, Inc.
5201 Patrick Henry Drive
Santa Clara, California 95054

FileMaker、ファイルメーカー及び Bento は、FileMaker, Inc. の米国及びその他の国における登録商標です。ファイルフォルダロゴ、FileMaker WebDirect 及び Bento ロゴは、FileMaker, Inc. の商標です。その他のすべての商標は該当する所有者の財産です。

FileMaker のドキュメンテーションは著作権により保護されています。FileMaker, Inc. からの書面による許可無しに、このドキュメンテーションを複製したり、頒布することはできません。このドキュメンテーションは、正当にライセンスされた FileMaker ソフトウェアのコピーがある場合そのコピーと共にのみ使用できます。

製品及びサンプルファイル等に登場する人物、企業、E メールアドレス、URL などのデータは全て架空のもので、実在する人物、企業、E メールアドレス、URL とは一切関係ありません。スタッフはこのソフトウェアに付属する「Acknowledgements」ドキュメントに記載されます。他社の製品及び URL に関する記述は、情報の提供を目的としたもので、保証、推奨するものではありません。FileMaker, Inc. は、これらの製品の性能について一切の責任を負いません。

詳細情報については <http://www.filemaker.co.jp> をご覧ください。

第 01 版

目次

ネットワークインストールセットアップガイド	4
インストールを始める前に	4
PDF形式のマニュアルの場所	5
設定支援インストールについて	5
設定支援インストールの設定	6
ネットワークボリュームへのインストールファイルのコピー	6
登録ファイルのカスタマイズ	6
ユーザによる設定支援インストールの実行方法	7
設定支援サイレントインストールについて (Windows)	8
サイレントインストールのための「Setup.ini」の変更 (Windows)	9
コマンドラインを使用したサイレントインストールの実行 (Windows)	9

ネットワークインストールセットアップガイド

このドキュメントでは、Windows または OS X 用の FileMaker® Server 13 のインストールをネットワーク上で設定する方法について説明します。

DVD または電子ダウンロードには、Windows および OS X 用の FileMaker Server のインストーラが含まれています。このソフトウェアの使用については、ライセンスアグリーメントの条件が適用されます。

インストールを始める前に

インストールを設定する前に、次の操作を行います。

1. ライセンスアグリーメントに付属する、アルファベットと数字を含む 35 文字のライセンスキーを確認します。

お客様には、ソフトウェアのダウンロードページへのリンクが含まれた電子メールが送信されます。ライセンスキーはそのページから入手できます。

インストールを行うには、そのライセンスキーを入力する必要があります。ライセンスキーがないとソフトウェアはインストールされません。

ライセンスについての詳細は、『FileMaker Server 13 入門ガイド』を参照してください。

重要 ライセンスキーは組織用にカスタマイズされています。ソフトウェアをインストールする際は、ライセンスアグリーメント (Proof of License) に記載されている組織名を正確に入力してください。組織名はライセンスアグリーメントに記載されているとおりに大文字小文字を区別する必要があります。

2. ユーザが FileMaker Server をインストールする際にライセンスキーと他の登録情報を入力する方法を決めます。この情報を入力する方法は次の 2 つです。

- 設定支援インストールを設定できます。この方法では、「Assisted Install.txt」という名前の登録ファイルを使用してインストーラに情報を提供し、FileMaker Server のインストールを標準化することができます。この方法を使用すると、インストールをカスタマイズすることができ、ライセンスキーの提示や管理を行う必要がなくなります。(FileMaker では、この方法をお勧めします。)
- FileMaker Server をコンピュータにインストールするときに名前とライセンスキーを入力して、ソフトウェアを登録できます。

重要 FileMaker Server をインストールするには、管理者権限が必要です。

PDF 形式のマニュアルの場所

FileMaker では、FileMaker Server 用の電子マニュアルを PDF 形式で提供しています。

- FileMaker Server 13 カスタム Web 公開 with PHP
- FileMaker Server 13 カスタム Web 公開 with XML
- FileMaker Server 13 入門ガイド
- FileMaker 13 ODBC と JDBC ガイド
- FileMaker 13 SQL リファレンスガイド
- FileMaker 13 WebDirect™ ガイド

PDF マニュアルは、製品 DVD または電子ダウンロードで提供されています。次の方法で電子マニュアルを入手することもできます。

- FileMaker Server Admin Console の [ヘルプ] メニュー > [FileMaker Server 製品マニュアル] を選択します。
- FileMaker Server Admin Console 開始ページのリンクをクリックします。
- Web 上で <http://www.filemaker.co.jp/documentation> にアクセスします。

FileMaker Server Admin Console からオンラインヘルプにアクセスすることができます。[ヘルプ] メニュー > [FileMaker Server ヘルプ] を選択します。

FileMaker Server 製品または展開についての詳細は、『FileMaker Server 13 入門ガイド』を参照してください。

設定支援インストールについて

設定支援インストールを使用すると、ユーザが複数の展開のインストールを行う場合に、FileMaker Server のインストールが容易になります。汎用のユーザ名、所属名、ライセンスキー、およびさまざまなインストールオプションなどの必要な情報を登録ファイルに入力しておき、そのファイルをネットワークで利用できるようにします。このファイルは、FileMaker Server を組織のコンピュータにインストールするために、FileMaker インストーラによって使用されます。

Windows の場合、インストール画面を表示しないサイレントインストールを設定することもできます。詳細については、8 ページの「設定支援サイレントインストールについて (Windows)」を参照してください。

登録ファイルを編集して、登録ファイルと FileMaker Server のインストールファイルをネットワークで利用できるようにすると、ユーザは次の方法で設定支援インストールを実行することができます。7 ページの「ユーザによる設定支援インストールの実行方法」を参照してください。

FileMaker Server の設定支援インストールを実行したら、ユーザは展開アシスタントを使用して、FileMaker Server を 1 台または複数のマシンで展開するように設定する必要があります。詳細については、『FileMaker Server 13 入門ガイド』を参照するようにユーザに指示してください。

設定支援インストールの設定

FileMaker Server を Windows および OS X にインストールするためにネットワークボリュームを設定するには、次のセクションの手順を実行します。

ネットワークボリュームへのインストールファイルのコピー

FileMaker インストールファイルをネットワークで利用できるようにするには、次の操作を行います。

1. インストールファイルを配置するネットワークボリューム上に、FileMaker Server インストーラファイルを格納するフォルダを作成します。
2. 次のフォルダとファイルを検索して、ネットワークボリューム上に作成したフォルダにコピーします。
 - Windows：登録ファイル「Assisted Install.txt」およびその他の必要なインストールファイルが保存されている「Files」フォルダ。
 - OS X：FileMaker Server 13 インストーラアプリケーション、および登録ファイル「Assisted Install.txt」。
3. 登録ファイルを使用するには、次のセクションに進みます。
登録ファイルを使用しない場合は、以上で作業は完了です。

登録ファイルのカスタマイズ

登録ファイルをカスタマイズするには、次の操作を行います。

1. メモ帳（Windows）やテキストエディット（OS X）などのテキストエディタを使用して、ネットワークボリューム上にある「Assisted Install.txt」ファイルを開きます。

メモ 「Assisted Install.txt」ファイルはクロスプラットフォームです。「Assisted Install.txt」ファイルは、Windows および OS X システムの両方のインストールに使用できます。

2. 必要に応じて以下の設定を変更します。

メモ 変数の設定の大文字と小文字は区別されません。

目的	実行方法
すべてのインストールで使用するユーザー名を入力する	Name= の後に名前を入力します。 この変数を空白のままにすると、インストーラにより、Windows を登録する際に使用された名前（Windows）またはアカウントのユーザー名（OS X）が使用されます。
すべてのインストールで使用する所属名を入力する	Organization= の後に所属名を入力します。 Windows：この変数を空白のままにすると、インストーラにより、Windows を登録する際に使用された所属名が使用されます。 Organization= の変数を指定する場合は、ライセンスアグリーメント（Proof of License）に記載されている組織名を正確に入力してください。組織名はライセンスアグリーメントに記載されているとおりに大文字小文字を区別してください。
すべてのインストールで使用する有効なライセンスキーを入力する	License Key= の後にライセンスキーを入力します。 ライセンスキーの詳細については、4 ページの「インストールを始める前に」を参照してください。
インストールのタイプを指定する	Installation Type= の後に次のいずれかを入力します。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 0 - 1 台のコンピュータに展開します（デフォルト）。 ■ 1 - 複数のコンピュータに展開します。

目的	実行方法
マシン設定を指定する	<p>Master/Worker Designation= の後に次のいずれかを入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 0 - マスタマシンに設定します (デフォルト)。 1 - ワーカーマシンに設定します。 <p>複数のマシン展開を設定する場合、マスタマシンとワーカーマシンにインストールするために別々の「Assisted Install.txt」ファイルが必要になります。複数マシンの展開には、マスタマシン 1 台と、ワーカーマシン 1 台が必要です。</p>
インストールの後、インストーラが自動的に展開アシスタントを開始するかどうか指定する	<p>Launch Deployment Assistant= の後に次のいずれかを入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 0 - インストールの後、展開アシスタントを開始しないようにします。 1 - インストールの後、展開アシスタントを開始します (デフォルト)。
FileMaker Server のユーザアカウントを指定する	<p>FileMaker Server User= の後に次のいずれかを入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 0 - デフォルトのアカウント (OS X の場合は fmserver、Windows では Local System) で FileMaker Server を実行します。 1 - 異なるアカウントで FileMaker Server を実行します。
インストール時に、登録情報のインストールタイプ、マシン設定ダイアログボックス、および FileMaker Server ユーザアカウントダイアログボックスを表示または非表示にする	<p>SkipDialog= の後に次のいずれかを入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 0 - インストール時に登録情報のダイアログボックスを表示します。 1 - 登録情報のダイアログボックスを非表示にします。ユーザは、インストール時に名前と所属の情報を入力する必要はありません。また、ライセンスキーを確認する必要もありません。 <p>入力したキーやユーザ名が無効な場合は、登録情報のダイアログボックスが表示されます。「FileMaker Server User=1」と入力した場合は、FileMaker Server ユーザアカウントダイアログボックスが表示されます。</p>

3. 「Assisted Install.txt」ファイルに加えた変更をテキストとして保存します。

- Windows：インストール時に「Assisted Install.txt」および「Setup.exe」が「Files」フォルダに存在している必要があります。
- OS X：インストール時に「Assisted Install.txt」が FileMaker Server 13 インストーラアプリケーションと同じフォルダに存在している必要があります。

ユーザによる設定支援インストールの実行方法

FileMaker Server をインストールするには、インストールファイルが保存されているボリュームをマウントしてから、「Setup.exe」(Windows)、または FileMaker Server 13 インストーラアプリケーション (OS X) をダブルクリックするようにユーザに指示します。

Windows：ファイルを開く場合のセキュリティ警告ダイアログボックスが表示されたら、[実行] をクリックしてインストールを続行するようにユーザに指示します。

「Assisted Install.txt」ファイルがインストーラと同じフォルダに存在する場合は、インストール時にそのファイルの情報がインストーラによって使用されます。このファイルが存在しないか、または不完全な場合は必要な情報をユーザが入力する必要があります。

インストールが完了したら、ユーザは展開アシスタントを使用して FileMaker Server を 1 台または複数のマシンで展開するように設定する必要があります。「Assisted Install.txt」ファイルで、インストール後に展開アシスタントを自動的に開始するかどうかを指定することができます。展開アシスタントを開始しないように選択した場合、Admin Console ログインページへ移動するようにユーザに指示します。展開アシスタントは自動的に開始されます。

Windows : Admin Console ログインページへ移動するショートカットは、マスタマシンの [スタート] メニュー > [すべてのプログラム] > [FileMaker Server] (または [スタート] メニュー > [プログラム] > [FileMaker Server]) に作成されます。Windows 8 および Windows Server 2012 では、ショートカットは、Windows の [スタート] 画面から使用できます。

OS X : Admin Console ログインページへ移動するエイリアスは、マスタマシンのデスクトップ上に作成されます。

メモ

- FileMaker Server をインストールするには、管理者権限が必要です。
- Windows では、インストーラに表示される言語を選択することができます。OS X では、インストーラは現在の OS X システム言語と同じ言語で表示されます。Windows と OS X において、ユーザが FileMaker Server Admin Console を使用するときに表示される言語は、マスタマシン上の基本 OS にインストールされた言語と同じです。

設定支援サイレントインストールについて (Windows)

サイレントインストール中は、ユーザによる FileMaker Server インストーラとの対話は最小限に抑えられます。必要なインストール情報は登録ファイル「Assisted Install.txt」から読み取られ、インストール画面は表示されません。

サイレントインストールを実行する方法は2つあります。ユーザは次の方法でインストールを行うことができます。

- マウントされたボリューム上にある「Setup.exe」ファイルをダブルクリックする。この方法では、「Setup.ini」ファイルを変更する必要があります。詳細については、次のセクションを参照してください。
- コマンドラインでインストールコマンドと該当するオプションを入力する。詳細については、9 ページの「コマンドラインを使用したサイレントインストールの実行 (Windows)」を参照してください。

重要

- FileMaker Server をインストールするには、ユーザのマシンのポート 80 および 443 が使用できる必要があります。ポート 80 および 443 が使用できない場合は、ソフトウェアはインストールされません。
- FileMaker Server には次のコンポーネントが必要です。
 - Java Runtime Environment 7 アップデート 17。
 - Bonjour for Windows 3.0.0.10。
 - Microsoft Visual Studio C++ 2012 Redistributable Package。
 - Microsoft Application Request Routing 2.5。

これらのコンポーネントがユーザのマシンにインストールされていない場合、FileMaker Server インストーラによって自動的にインストールされます。

サイレントインストールのための「Setup.ini」の変更 (Windows)

「Setup.ini」ファイルを次のように変更した場合、ユーザがネットワークボリュームをマウントして「Setup.exe」をダブルクリックすると、サイレントインストールが開始されます。

1. FileMaker Server 13 のフォルダ内にある「Files」フォルダで「Setup.ini」ファイルを検索します。
2. メモ帳などのテキストエディタを使用して「Setup.ini」を開きます。
3. [Startup] セクションを検索して、CmdLine= の後に次のいずれかを入力します。

目的	CmdLine= の後に追加するオプションの指定方法
ユーザインターフェースを表示しないで FileMaker Server をインストールする (サイレントインストール)	CmdLine=/q
インストール中に進行状況およびキャンセルボタンを表示する	CmdLine=/qb

4. 「Setup.ini」ファイルを保存して閉じます。

コマンドラインを使用したサイレントインストールの実行 (Windows)

ユーザは、コマンドラインから FileMaker Server をインストールできます。この方法を使用する場合、インストールが成功したかどうかをインストーラによってユーザに通知することができます。

コマンドラインのサイレントインストールでは、管理者としてコマンドプロンプトを実行する必要があります。

Windows 7 および Windows Server 2008 で管理者として実行するには：

1. [スタート]メニュー > [すべてのプログラム] > [アクセサリ] を選択します (または、[スタート]メニュー > [プログラム] > [アクセサリ] を選択します)。
2. [コマンドプロンプト] を右クリックして、[管理者として実行 ...] を選択します。

Windows 8 および Windows Server 2012 で管理者として実行するには：

1. [スタート]画面で右クリックして、[すべてのアプリ] を選択します。
2. [コマンドプロンプト] を右クリックして、[管理者として実行] を選択します。

コマンドラインから設定支援インストールを実行するときに提供されるオプションは次のとおりです。

目的	ユーザにコマンドウィンドウでの入力を指示する内容
ユーザインターフェースを表示しないで FileMaker Server をインストールする (サイレントインストール)	"pathname ¥ setup.exe" /s /v/qn
FileMaker Server のインストールに成功したかどうかを示すダイアログボックスを表示する	"pathname ¥ setup.exe" /s /v/qn+
インストール中に進行状況およびキャンセルボタンを表示する	"pathname ¥ setup.exe" /s /v/qb
ユーザインターフェースを表示しないで FileMaker Server をアンインストールする (サイレントアンインストール)	"pathname ¥ setup.exe" /s /x /v/qn

メモ Pathname にはネットワークボリューム上に作成したインストーラのディレクトリの場所を入力します。